

2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年4月14日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 2023年5月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年9月1日~2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年8月期第2四半期 | 34,556 | 5.7 | 1,509 | △20.7 | 1,505 | △30.7 | 772 | △34.0 |
| 2022年8月期第2四半期 | 32,704 | 3.4 | 1,902 | △28.5 | 2,172 | △15.9 | 1,170 | △38.8 |

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 460百万円(△64.3%) 2022年8月期第2四半期 1,289百万円(△38.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年8月期第2四半期 | 33.11 | 29.28 |
| 2022年8月期第2四半期 | 50.14 | 44.86 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年8月期第2四半期 | 42,546 | 20,867 | 49.0 |
| 2022年8月期 | 54,721 | 20,406 | 37.3 |

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 20,867百万円 2022年8月期 20,406百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年8月期 | — | 17.00 | — | 0.00 | 17.00 |
| 2023年8月期 | — | 13.00 | | | |
| 2023年8月期(予想) | | | — | 18.00 | 31.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 73,486 | 9.8 | 4,009 | 20.9 | 3,875 | 2.3 | 2,142 | 185.3 | 91.81 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2023年8月期2Q | 23,980,000株 | 2022年8月期 | 23,980,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年8月期2Q | 639,846株 | 2022年8月期 | 639,815株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2023年8月期2Q | 23,340,159株 | 2022年8月期2Q | 23,340,216株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2023年4月14日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年9月1日～2023年2月28日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響については、周期的な感染者数の増減が続いていたものの足許では減少傾向となり、都心部を中心に人流は回復しておりました。一方、ウクライナ情勢の影響等から原油価格の高騰や為替の影響に伴う物価上昇が続いたこともあり、個人消費は緩やかな回復基調にとどまりました。世界経済においては、新型コロナウイルス感染症の対応は引き続き各国、各地域によって異なり、とりわけ中国では12月上旬までゼロコロナ政策による都市封鎖が断続的に行われたため、経済活動に影響が生じておりました。またロシアのウクライナ侵攻による経済的影響が長期化しており、原油や原材料の価格高騰による世界的なインフレ、各国間での金利格差拡大などによる景気の下振れリスクの高まりが懸念されております。

国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同期比は一進一退の状況が継続しておりましたが、足許では減少しており、新型コロナウイルス感染症発生以前の水準にはまだ回復していない状況です。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げているサプライチェーンの再構築及びイノベティブなプロダクト開発の強化などの取り組みを進めてまいりました。サプライチェーンの再構築につきましては、海外での生産拠点の一極集中の解消や店頭までのリードタイムの短縮を目的に、株式会社ヤマテックを子会社化し、国内生産体制の強化に着手しております。商品開発につきましては、「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトを進めており、当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は23百万円となりました。

店舗展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は、国内467店舗、海外235店舗(中国173店舗、台湾50店舗、香港8店舗、米国4店舗)の合計702店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、主に中国において新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、国内及び海外の新規出店の効果もあり34,556百万円(前年同期比5.7%増)となりました。営業利益は1,509百万円(前年同期比20.7%減)、経常利益は1,505百万円(前年同期比30.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は772百万円(前年同期比34.0%減)となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

| セグメントの名称 | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日) | 構成比 | 前年同期比増減 |
|-----------|---|--------|---------|
| 国内アイウェア事業 | 26,247百万円 | 76.0% | 2.4% |
| 海外アイウェア事業 | 8,309百万円 | 24.0% | 17.5% |
| 合計 | 34,556百万円 | 100.0% | 5.7% |

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、約7年ぶりに刷新した「JINS CLASSIC」シリーズ、「STANDARD」シリーズをはじめとした定番商品から販売価格を改定し、11月中旬以降は既存商品も同一の価格帯にしたことにより一式単価は順調に伸長したものの、12月、1月にかけて、全国旅行支援等により観光や飲食等に需要が向けられ、アイウェアの購買需要獲得にはつながらなかったこと等により、売上高は当初予想より減少し、ほぼ前年並みとなりました。なお、JINSアプリの会員数が2023年2月末現在で約1,240万人となり、引き続きEC販売は堅調に推移しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、感染者数の増減による影響は徐々に縮小しつつあります。

店舗展開につきましては、国内店舗数は467店舗(出店14店舗、退店11店舗)となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高26,247百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益1,476百万円(前年同期比23.1%減)となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、新型コロナウイルス感染症の影響は、春先の大都市圏での都市封鎖の反動から客足が戻り、業績は回復していましたが、8月後半から再び地方都市を中心に都市封鎖が増加したことにより客足に影響が出始め、12月上旬に実質的にゼロコロナ政策が撤廃となって以降も年内は人流が大幅に減少しており、業績に大きく影響がありました。

台湾においては、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり、オプションとして取り揃えている日本製レンズが好評を博していること等により業績は順調に推移しております。

香港においても、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的であり、業績は順調に推移しております。

米国においては、不採算であったサンフランシスコ旗艦店を8月に閉店し、EC事業を中心とした事業規模の拡大を目指した事業構造改革を進めております。

店舗展開につきましては、中国173店舗（出店3店舗、退店4店舗）、台湾50店舗（出店1店舗、退店なし）、香港8店舗（出店1店舗、退店なし）、米国4店舗（出店なし、退店2店舗）の合計235店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高8,309百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益32百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 2022年8月期末 (2022年8月31日) | 当第2四半期連結 会計期間末 (2023年2月28日) | 増減 | 増減率(%) |
|-----|---------------------------|-----------------------------------|---------|--------|
| 総資産 | 54,721 | 42,546 | △12,175 | △22.2 |
| 負債 | 34,314 | 21,678 | △12,635 | △36.8 |
| 純資産 | 20,406 | 20,867 | 460 | 2.3 |

(イ)資産

流動資産は、20,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,346百万円減少いたしました。

これは主に、転換社債型新株予約権付社債の償還等により現金及び預金が13,103百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、21,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が121百万円、敷金及び保証金が20百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、42,546百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,175百万円減少いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、10,415百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,284百万円減少いたしました。

これは主に、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が10,033百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、11,263百万円となり、前連結会計年度末に比べ351百万円減少いたしました。

これは主に、長期借入金が109百万円減少したことによるものであります。

以上により、負債合計は、21,678百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,635百万円減少いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、20,867百万円となり、前連結会計年度末に比べ460百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益772百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期通期の業績予想につきましては、本日(2023年4月14日)発表いたしました「2023年8月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年8月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 21,430 | 8,327 |
| 売掛金 | 4,514 | 3,947 |
| 商品及び製品 | 5,406 | 6,390 |
| 原材料及び貯蔵品 | 446 | 531 |
| その他 | 1,376 | 1,631 |
| 流動資産合計 | 33,174 | 20,827 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,610 | 7,681 |
| その他(純額) | 2,139 | 2,190 |
| 有形固定資産合計 | 9,750 | 9,871 |
| 無形固定資産 | 2,196 | 2,195 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 4,910 | 4,931 |
| その他 | 4,690 | 4,720 |
| 投資その他の資産合計 | 9,601 | 9,651 |
| 固定資産合計 | 21,547 | 21,719 |
| 資産合計 | 54,721 | 42,546 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年8月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日) |
|---------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,535 | 1,366 |
| 1年内償還予定の 転換社債型新株予約権付社債 | 10,033 | — |
| 短期借入金 | 1,869 | 2,019 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 70 | 39 |
| 未払金及び未払費用 | 4,676 | 4,391 |
| 未払法人税等 | 912 | 868 |
| 賞与引当金 | 67 | 86 |
| 商品保証引当金 | 168 | 160 |
| 事務所移転費用引当金 | 235 | 235 |
| 事業構造改革費用引当金 | 628 | — |
| 資産除去債務 | 356 | 340 |
| その他 | 1,145 | 906 |
| 流動負債合計 | 22,699 | 10,415 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 10,025 | 10,020 |
| 長期借入金 | 131 | 22 |
| 資産除去債務 | 265 | 263 |
| その他 | 1,193 | 957 |
| 固定負債合計 | 11,615 | 11,263 |
| 負債合計 | 34,314 | 21,678 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,202 | 3,202 |
| 資本剰余金 | 3,228 | 3,228 |
| 利益剰余金 | 18,623 | 19,396 |
| 自己株式 | △5,003 | △5,003 |
| 株主資本合計 | 20,051 | 20,824 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 189 | 135 |
| 為替換算調整勘定 | 166 | △92 |
| その他の包括利益累計額合計 | 355 | 43 |
| 純資産合計 | 20,406 | 20,867 |
| 負債純資産合計 | 54,721 | 42,546 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 32,704 | 34,556 |
| 売上原価 | 7,148 | 7,599 |
| 売上総利益 | 25,555 | 26,957 |
| 販売費及び一般管理費 | 23,653 | 25,448 |
| 営業利益 | 1,902 | 1,509 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 43 | 42 |
| 為替差益 | 182 | — |
| 補助金収入 | 133 | 180 |
| 受取補償金 | 110 | — |
| 事業構造改革費用引当金戻入益 | — | 61 |
| その他 | 23 | 35 |
| 営業外収益合計 | 494 | 320 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 77 | 71 |
| 持分法による投資損失 | 27 | 53 |
| 不動産賃貸費用 | 110 | 98 |
| 為替差損 | — | 50 |
| その他 | 9 | 50 |
| 営業外費用合計 | 224 | 324 |
| 経常利益 | 2,172 | 1,505 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 94 | 47 |
| 店舗閉鎖損失 | 12 | 16 |
| 店舗臨時休業による損失 | — | 74 |
| 事務所移転費用引当金繰入額 | 235 | — |
| 特別損失合計 | 342 | 139 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,829 | 1,365 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 754 | 622 |
| 法人税等調整額 | △95 | △29 |
| 法人税等合計 | 659 | 592 |
| 四半期純利益 | 1,170 | 772 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,170 | 772 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,170 | 772 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △53 |
| 為替換算調整勘定 | 119 | △248 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | — | △10 |
| その他の包括利益合計 | 119 | △312 |
| 四半期包括利益 | 1,289 | 460 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,289 | 460 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|-------------------|-------------------|--------|------|------------------------------|
| | 国内 アイウェア 事業 | 海外 アイウェア 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 25,630 | 7,074 | 32,704 | — | 32,704 |
| 外部顧客への売上高 | 25,630 | 7,074 | 32,704 | — | 32,704 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 233 | 5 | 239 | △239 | — |
| 計 | 25,864 | 7,080 | 32,944 | △239 | 32,704 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 1,921 | △18 | 1,902 | — | 1,902 |

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-----------------------|-------------------|-------------------|--------|------|------------------------------|
| | 国内 アイウェア 事業 | 海外 アイウェア 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 26,247 | 8,309 | 34,556 | — | 34,556 |
| 外部顧客への売上高 | 26,247 | 8,309 | 34,556 | — | 34,556 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 344 | 5 | 349 | △349 | — |
| 計 | 26,591 | 8,314 | 34,906 | △349 | 34,556 |
| セグメント利益 | 1,476 | 32 | 1,509 | — | 1,509 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。